

豊田小学校だより

令和4年3月7日
校長 大瀧 剛

令和3年度 学校評価について <①>

本年度も残すところあと数週間となりました。この一年、保護者のみなさま、そして地域のみなさまには、本校教育活動並びにコロナ禍での学校運営にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

先週は、「6年生を送る会」が行われました。学年間での活動が制限されるなか、主催の5年生がアイデアを出して進めてくれました。この日のために撮影、編集してきた動画『あたりまえ体操 豊田小バージョン』を各教室で見たり、ズームを活用した「学年しりとり」で盛り上がり、「6年生へのインタビュー」を配信したり…。最後に、色紙のプレゼントをもらった6年生は、これもこの日のため練習してきた2曲のダンスを、全校へのお礼に披露していました。

そして今週から6年生は、体育館で卒業式の練習に取り組み始めました。小学校生活も、あと9日。残り少ない小学校生活ですが、毎日を大切に時間を使ってほしいと思います。

さて、先日は、学校評議委員、豊田まちづくり推進協議会事務局長、幼稚園長、豊田小学校 PTA 会長等の評価委員の皆様にお集まりいただき、今年度の『学校関係者評価委員会』を実施いたしました。学校からは、「学力の向上と豊かな心の育成」「子どもが安心して生活できる学校づくり」「開かれた学校づくり」の3つの柱をもとに、今年度取り組んできた様々な内容について、アンケートや学力調査の結果等もお話しし、評価委員の皆様からご意見をいただきました。



評価委員の皆様からいただいたご意見

- この学校の子どもはよく挨拶してくれる。また、男女一緒によく遊んでいる姿を見るが、仲間づくりができている証拠だと思う。
- コロナ禍ではあるが、学校の取組により、子どもの学力や学級満足度があがっている。QUの結果もよく、なかまづくりを丁寧に進めてもらっている成果だと思う。また、保護者アンケートの数字からも、よく取り組んでもらっているのではないと思う。
- 学校が取り組んでいることや子どもの様子などを発信するのは大切だと思う。ホームページを見たが、続けてほしいと思う。
- コロナ禍でなければ幼稚園とも、もっと計画的に交流できたと思うと残念であった。
- ボランティアの話があったが、例えば学校ホームページで、学校が困っていることや手伝ってほしいことなどを伝えることを考えてみるのはどうか。
- 学校が遅くまで子どもたちのために仕事をしていただいているのがよくわかる。授業に専念してもらえるように、PTAとしてボランティアなど協力できるところはやっていきたい。
- 読書の習慣化はなかなか難しい課題だと思う。読書習慣はいつも話題になるが、学校で続けられるところは続けてもらいたい。
- 読書習慣は家庭が動くことも大切だと思う。読まないと言彙力が身につかないこともあるので、家庭で何ができるのか考えていきたい。
- 学力向上やなかまづくりの取組は、これからも取り組んでいただきたい。また、不登校や支援の必要な子どもに視点を当てた取組も継続してほしい。

いただいたご意見を、次年度の取組に生かしていきたいと思います。次ページ、学校評価について <②>もご覧ください。

令和3年度 学校評価について <②>

続いて、教育活動についての保護者アンケートの結果をお伝えしますのでご覧ください。委員会では今回も、Q12の読書習慣の定着が話題の一つとなりました。その他の項目については、「そう思う」「だいたいそう思う」がすべて8割以上でした。いただいたご意見をもとに、より丁寧に進めてまいりたいと思っています。保護者のみなさま、お忙しいなかご協力いただきありがとうございました。

教育活動についてのアンケート

